

## 集落環境点検の推進

大津・南部農業農村振興事務所農産普及課

### 【普及活動のねらい・対象】

管内の獣害被害集落は78集落、被害金額は鳥害含め3,466万円(H22)となっています。特に、シカとイノシシによる農業被害が深刻で、営農意欲の減退につながっています。



集落環境点検の様子

個人での野生獣対策は限界に達しており、野生獣の出没状況や集落の弱点などを知る集落環境点検に基づく集落ぐるみの対策を講じる必要があります。

今年度大津市においては、国の鳥獣被害防止総合対策事業の防護柵設置補助を活用して、18集落で防護柵を導入されました。この防護柵の効果を最大限に発揮し、また集落ぐるみの対策として定着するよう、大津市有害鳥獣被害対策協議会と連携し、集落環境点検を支援しました。

### 【普及活動の成果】

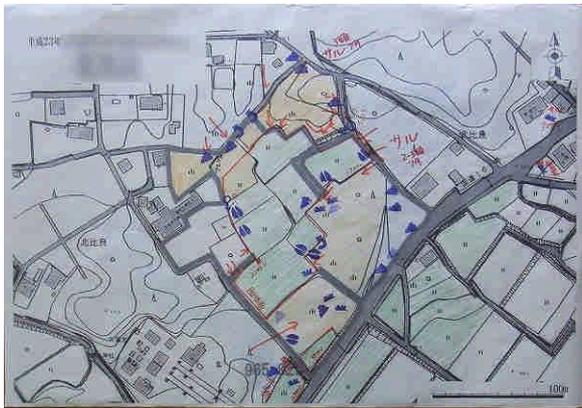
#### (1) 活動の経過

被害集落の方々と一緒に被害箇所を点検し、加害獣の種類、侵入経路などの確認を支援しました。新たな取組として、大津市有害鳥獣被害対策協議会で購入された赤外線カメラにより、集落に侵入する野生獣を動画で撮影しました。この動画を見ることで、獣害対策への強い動機付けができました。



赤外線カメラの映像

#### (2) 活動の成果



点検結果を記入した地図

点検によって明らかとなった野生獣の行動や農業被害、野生獣を呼び寄せている集落環境、これまでの対策を一枚の地図に記入することで、集落の弱点がどこにあるのか、今後どのような対策が必要なのかを、自治会の役員や住民に理解されました。また、別途被害防止対策合同検討会も開催し、地域の獣害対策リーダーの育成も行いました。